

## 中間報告に向けた検討事項

### 1. 中間報告骨子について

中間報告では、以下の論点を取りまとめ、最終報告へ向けてさらに議論を進めることとしてはどうか。また、文化部活動の地域移行の実証では、地域移行に係る課題や検証項目をモデル別に検証していくこと、及び、自治体規模別に具体的な対応方策を取りまとめ、全国普及していくための方策検討も行うべきとしてはどうか（5. に参考として実証イメージを取りまとめ）。

#### 1.1 地域移行モデルについて

地域移行モデル整理の方針（2. で後述）、地域移行モデル構築の方針（3. で後述）に基づき、地域移行モデル検討に係る中間取りまとめを実施。

#### 1.2 地域移行に係る検討課題について

ヒアリング調査を踏まえ、地域移行に係る検討課題を多角的に整理し、最終報告へ向けた議論へ反映。現時点で実施されたヒアリングに基づき、以下に論点例を取りまとめ。

表 1 地域移行に係る検討課題（例）

##### 1) 文化部活動の目的・意義に応じた段階的な地域移行の必要性

安全、活動場所、費用、学校内での教育的意義との結びつき等に応じて、学校内で文化部活動の目的・意義を再検討する必要があるのではないか。また、それに応じた段階的な地域移行を行う際の方針を示すべきではないか。

##### 2) 安全・責任体制の構築

活動場所、指導・監督者等に応じた安全・責任体制の構築が急務。

##### 3) 学校運営管理者及び教育委員会との連携

学校長の理解、責任の在り方について明確にすべき。特に公立中学校の文化部活動の地域移行には教育委員会との連携が必須であるため、連携の際のポイントについて検討すべき。

##### 4) 指導者育成の在り方

技術、教育的配慮、危機管理等、各方面でのスキルを一定程度備えた指導者（特に外部講師）の育成が急務。

##### 5) 安定性・継続性の確保

安定的・継続的な活動のための財源、組織体制等の在り方を示すべきではないか。

##### 6) 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」の運用

各学校現場や地域の事情に応じた運用の在り方を検討すべき。

## 2. 地域移行モデル整理の方針

第1回検討会議及びヒアリング等から、以下の考え方に基づいて整理してはどうか。

- 以下の運営主体別で大分類を実施。
  - ✓ 保護者や地域(法人等の正式な組織化なし)
  - ✓ 文化施設
  - ✓ 文化団体（文化施設除く）
  - ✓ 大学（芸術系大学、教員養成大学等）（例：指導者派遣）
  - ✓ 民間事業者（人材派遣型、教室型等。カルチャーセンター等含む）
  - ✓ その他
- さらに以下の観点別に整理を実施。特に部活動の目的と活動場所がモデル内容に大きく影響。
  - ✓ 部活動の目的（技術指導から楽しみまで、異なった目的が存在<sup>1)</sup>）
    - 指導者の水準と密接に関連すると想定（例：技術指導が目的の吹奏楽部指導の場合、大学等からの指導者派遣モデルが適切）
  - ✓ 活動場所（学校内／外、その他）
  - ✓ 自治体規模（大都市、地方都市、町村・へき地）

## 3. 地域移行モデル構築の方針

事例（仮想例、構想中の事例含む）を「活動目的×活動場所」のマッピングで整理しながら、課題や工夫等を分析してモデルを構築していくこととしてはどうか。

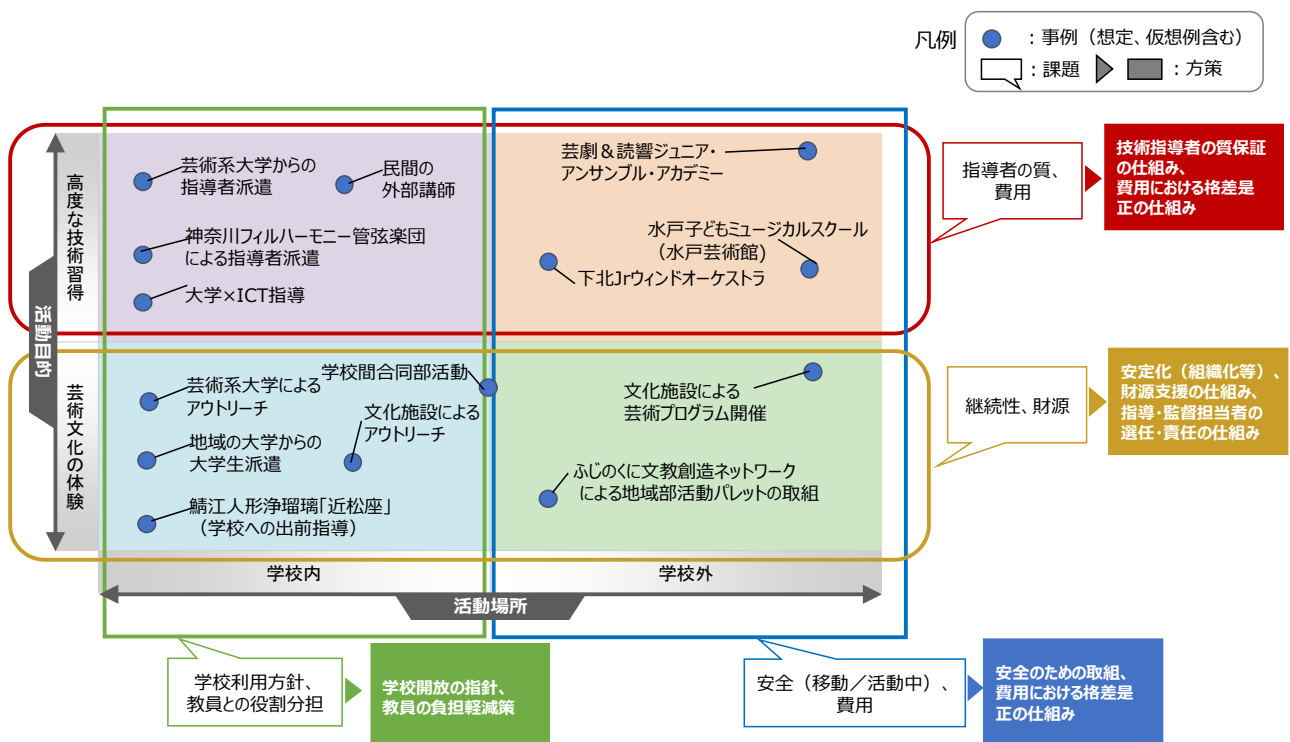


図 1 領域別の事例整理イメージ（課題と解消方策の例）

※なお、新型コロナウイルスへの対応策は全モデルにおいて実施が必要。

※※上記に加え、自治体規模別のモデル実証の在り方については、アンケート調査結果も加味して検討する必要あり。

<sup>1)</sup> 「所属している目的(生徒)」

## 4. 今後の方針

中間報告及び最終報告取りまとめに向けて、以下の方針で調査及び検討を進めてはどうか。

- 運営主体別の事例収集
  - ✓ 事例に基づきモデルを構築。
  - ✓ 各事例における取組・工夫・課題認識から、地域移行に係る検討課題及びモデル実証において検証すべき項目を取りまとめ。
  - ✓ 各事例において、自治体類型（学校の状況、文化資源の状況等）による特徴も併せて収集。
- 全国アンケート調査により、モデルの全国普及可能性を検討。
  - ✓ 構築したモデルがどのような自治体で実践可能かを取りまとめ。
    - 例：文化施設による子供の芸術体験事業が一般財源化されている自治体では、文化施設による文化部活動地域移行が比較的容易。
- 来年度以降の実証事業のイメージ検討。
  - ✓ 5. の記載事項を検討会議内で検討していく。

## 5. 参考：文化部活動の地域移行モデル実証事業のイメージ

本事業については、以下を整理していくことが必要。

- 事業目的
- 検証事項（事業全体／各モデル別）
- 個別事業の質保証の仕組み
- 事業成果の全国普及方策
- 事業全体の評価方法（KPI の設定等） 等

(以上)